

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 機械システム工学コース 助教 齋藤 博史

取組状況	
教育	<p>1. 担当科目(プログラミング, 情報処理, 熱力学, 伝熱工学, 伝熱工学特論)の準備・実行(講義ノートの修正と追加). ・進行の度合いと理解度を確認しながら講義を行った. ・本科1~5年生, 専攻科, 全学年の授業科目を担当し, カリキュラムの柱である基礎, 応用, 実践を包括する形で, 教育・指導を行うことが出来た.</p> <p>2. プログラミング及び情報処理科目での実践的講義の実施 ・学生が主体的に授業に取り組むことのできるように端末室で講義を行い, 課題解決能力の向上を図った. また, 機械システム工学コースの多くの学生は情報系科目を苦手とするなか, 課題を反復的に学習することで, 苦手克服と情報処理全般について基礎力と実践力の向上を図った.</p> <p>3. 国家資格機械加工(普通旋盤作業)3級資格取得のための技術指導(主に本科3年生対象) ・20名の検定合格者を輩出した.</p> <p>4. 研究指導 ゼミナール, 卒業研究, 特別研究にて, 研究指導を行い, 卒研では国内4件, 特研Ⅱでは国内2件(共同研究を含む)の学会発表を行った.</p>
研究	<p>学会発表 6件:</p> <p>1. 長谷川ら他2名, プレート型並列細管熱輸送デバイスの熱輸送特性にアルコール水溶液の混合比が与える影響, 日本機械学会関東学生会第58回学生員卒業研究発表講演会, 千葉(2019/3)</p> <p>2. 中村ら他1名, 丸孔をベースにした孔形状におけるフィルム冷却の流れと熱遮蔽特性について, 日本機械学会関東支部第25期総会・講演会, 千葉(2019/3)</p> <p>3. 中畑ら他2名, HFC,HFO冷媒を用いたパイプ型並列細管熱輸送デバイスの熱輸送特性評価, 日本機械学会関東支部第25期総会・講演会, 千葉(2019/3)</p> <p>4. 大瀬良ら他2名, アルコール水溶液を用いた薄型並列細管熱輸送デバイスの熱輸送性能評価, 日本機械学会関東支部第25期総会・講演会, 千葉(2019/3)</p> <p>5. 牧田ら他2名, 乱流予混合火炎における流れ場の計測 - レイノルズ応力の計測, 第56回燃焼シンポジウム, 大阪(2018/11)</p> <p>6. 矢能ら他4名, 化学発光分光法による乱流予混合火炎の燃焼診断に関する研究, 第56回燃焼シンポジウム, 大阪(2018/11)</p>
社会貢献	<p>1. 研究活動の紹介と地域交流の活性化への取り組み. ・産技祭期間中, 研究室公開を行い研究紹介と熱力学(熱輸送)に関する実験デモンストレーションを行い, 父兄, 近隣住民, 小中学生へその内容を紹介した.</p> <p>2. オープンカレッジ(公開講座: Open College小中学生対象講座・題目「魔法のパイプ? ヒートパイプ」)の実施. 中学生を対象にオープンカレッジを実施し, 14名(申込15名, 1名欠席)の参加者を受け入れ, 実施した. アンケート結果から高い満足度であったことが確認できた.</p> <p>3. 技能検定委員(東京都職業能力開発協会)</p>